

平成25年度 学校公開

11月9日(土)に、本校は「学校公開」を実施しました。

この催しは、教育活動の一端を、学校関係者や地域の方々に紹介し、本校の存在、役割及び特別支援教育についての理解推進を図ることを目的として毎年実施しているものです。

今回は**187名**の来校があり、その内訳は左図のとおりでした。また、筑波大学が実施する教員免許状更新講習の附属学校実践演習も同時開催され、**37名**の受講者が学校公開に参加しました。

多くの学校関係者のなかでも、大学生の参加が増えてきていることは、今後の知的障害を伴う自閉症児の教育に繋がることが期待されます。

また、左図のアンケート結果からは特別支援教育に一定の理解をいただけたこと、アンケートの記述欄からも様々な新しい印象をもって参加していただけたことが伺えました。

当日は、幼稚部ひよこ組・りす組・うさぎ組、小学部1年1組～6年1組及び寄宿舎が、授業公開及び施設公開を行い、全体会では学校の概要についての説明や学校紹介ビデオの上映などを行いました。

公開された授業は、朝の活動や素材・音楽遊び、個別の課題学習・体育・図画工作・音楽等様々でした。写真①は朝の会の前に、子供の好きな大型絵本の読み聞かせをしているところです。すぐに集合できない子供も、少しずつ集まってきています。②は朝の運動です。タオルを使った運動で、体操や引っ張りっこ等をしたところです。道具を使った運動は、しっかり手を伸ばすといった姿勢などが分かりやすくなります。③は個別の課題学習／自立課題です。自立課題は、提示された順番に一人で学習を進めますが、出来た課題や分からない

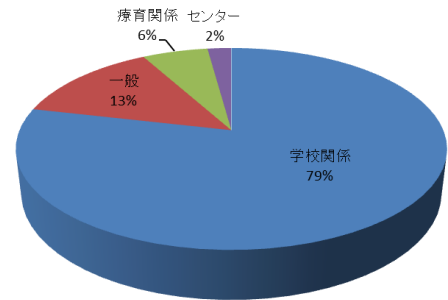


図1 学校公開参加者内訳

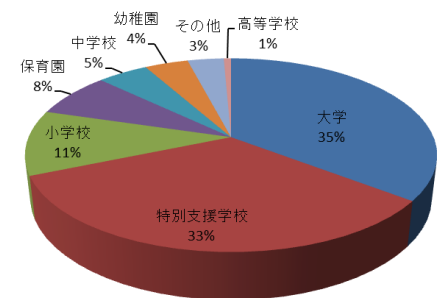
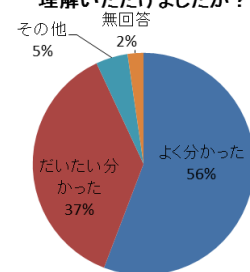


図2 学校関係者詳細

本日参加されて、障害のある子どもの教育についてご理解いただけましたか？



① 朝の会(幼稚部りす組)

ところなどを先生に報告に行くことも大切にしています。

他にも、素材あそびの授業で、部屋いっぱいの段ボールで遊んだり、職場体験に向けて、ハンバーガーの販売を練習したりと、子供たちの興味や意欲、季節感を意識した授業づくり、環境づくりがなされ、参観者は、幼児児童の活動の様子に興味深く見学していました。



②朝の運動(小学部1年)



③個別の課題学習／自立課題(小学部6年)